実施プログラム名　「体験型」サイエンスショー

足立区立花畑第一小学校　　令和8年 9月29日（火）

プログラム概要

- サイエンスエンターテイナーとして活躍しているチャーリー西村氏を講師に迎え、サイエンスショーを実施しました。
- 空気砲やゴムロケットなどを使った実験を通して、身近な科学の不思議や面白さに触れました。
- 目の前で起こる様々な現象に触れながら、科学の原理や身の回りにある「なぜ？」について学びました。

体験風景

1 空気砲



大小さまざまな空気砲を使って、空気の力や動きを体感しました。空気砲の中に煙を入れることで、普段は目に見えない空気が飛んでいく様子も観察でき、勢いよく飛び出す煙の輪に、児童からは驚きの声が上がりました。

2 ゴムロケット実験



ゴムでつながれたウレタン製のロケットを引っ張り、手を離して飛ばす実験を行いました。ゴムの本数を変えてロケットを飛ばし、飛ぶ速さや勢いの違いを比較することで、ゴムの張力による力の働きについて学びました。

3 くねくねダンサー実験



手のひらから出ている汗を、「くねくねダンサー」を使って確かめる実験を行いました。人形を手のひらに置き、汗の水分に反応して動くことを観察することで、目には見えにくい手のひらの汗を可視化して実感することができました。

4 巨大風船実験



風船を使った実験を通して、「空気にも重さがある」ことを体感しました。最後には、たくさんの大きな風船が児童の頭上を舞うダイナミックな体験も実施し、楽しみながら身近な空気の性質について学ぶ時間となりました。

参加した児童の声

- くねくねダンサーを手のひらにのせると、本当にくねくね動いて不思議でした。手のひらから汗が出ていることは知らなかったので、実験で確かめることができておもしろかったです。
- 様々な実験を目の前で見ることができて、とても楽しかったです。今まで気にしたことがなかった空気やゴムにも、様々な科学のしくみがあることがわかりました。